

取扱説明書B

ご使用前に必ずお読みください

*取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。

*デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更する場合があります。

接続機器名/ BTE20X
バスキー/ 0000 (ゼロを4つ)

BTE202

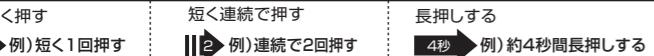
Bluetoothイヤホンマイク

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

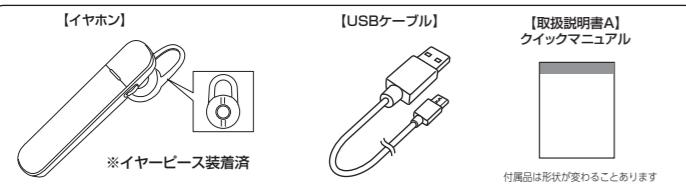
1 はじめに

本製品はBluetooth(HFP/HSP)対応の携帯電話、スマートフォン、パソコンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続端末」もしくは「携帯電話」、「スマートフォン」と表記しています。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。



●セット内容の確認 ●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。



… 安全にご使用いただくために

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。

警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

! 警 告

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

! 注 意

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の緑の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

○ 禁止(してはいけないこと) ○ 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

! 警 告

火の中に投下したり、高温(50°C以上)の環境下に保管、放置しないでください。

禁 止 イヤホンの内蔵充電池は破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますが、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

! 警 告

本体(イヤホン)は流水に当たると水没させないようにしてください。

禁 止 部品(イヤホンやケーブルなど)は非防水なので濡れた手でさわらないでください。
流水に当たると水没した場合は隙間を拭き取り、濡れた箇所を完全に乾燥させてください。
また、本体内に水などが内部に入ったままご使用になると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

! 警 告

針を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

! 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。

禁 止 分解、改造は、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電池は破裂、発火、発熱させる原因となります。イヤホンの内蔵充電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。

! 走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差し操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐停車してからおこなってください。

! 小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。

禁 止 小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されていて大変危険です。

! 付属のUSBケーブルをお使いください。

指示 出力がDC5V1A以上のUSB充電器を推奨します。低出力の充電器ですと、満充電まで長くかかり、ほとんど充電されない場合があります。
また、USB規格外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。

! 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

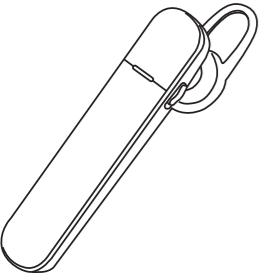
! 本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。

禁 止 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くにこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

! 航空機に搭乗する際は、各航空会社の指示に従ってください。

禁 止 航空機の運航に影響を及ぼすおそれがありますので、必ず事前にご確認の上、ご使用ください。

221209



△ 注意

○ お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

○ 極端な低温(0°C以下)での保管、放置はやめてください。
製品の性能を損ねるおそれがあります。

○ 本体並びに付属品を屋外(車外)や温度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

○ ポケットやバッグに収納するときは、USBケーブルなどを繋がず、イヤホンの電源をオフにしてください。
衝撃や無理な力で故障の原因になったり、ミスイッチが押されて、誤って通信をしてしまうおそれがあります。

○ クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がつたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

○ 長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にUSBケーブルを繋がず保管してください。

○ ブラグ類を本体、充電器から抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

○ 付属しているUSBケーブル以外で、イヤホンを充電した場合の故障、事故に関して当社では責任を負いません。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

○ イヤホンのLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

● 取扱い上のお願い

●ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。

●本製品の使用中に起こった、メモリーダイアル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。

●本製品を含むBluetooth機器同士で通話をすると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

●本製品は充電中の待ち受けはできません。充電中は電源がOFFになります。一度充電すると、スマートフォンとの再接続が手動になる場合があります。また、内蔵充電池の寿命を早めるおそれがありますので、必要時以外はなるべく電源を切ってください。

● Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。スマートフォンなどのBluetooth搭載機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。

●本製品について

●本製品のイヤホンはBluetooth Version 5.1 Class2に準拠、適合しております。上位互換性から、どのバージョンのBluetooth搭載携帯電話とも接続してご使用になれますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話とのご使用は保証しておりません。

●適合可能な携帯電話に関する情報は当社Webサイトの適合情報にてご確認ください。

●付属のイヤホンは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。

●内蔵充電池は通常に使用しても劣化する消耗品ですので、充電池の劣化による通話時間、スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電池の交換はできません。

●仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 製品仕様

… 主な仕様

項目	仕様	項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.1 Class2	製品寸法・重量	H73x W16 x D22 mm 約8.5 g(イヤホン本体のみ)
Bluetooth対応プロファイル	HSP,HFP,A2DP,AVRCP	周波数	2.4 GHz スペクトラム FHSS (2台まで対応)
クラウド通信距離	クラウド/最大10 m	マルチペアリング	(8台まで対応) ※3
電池形式・容量	リチウムイオン電池(3.7V)	充電端子	microUSB
充電時間	約3 時間	接続機器表示名	BTE20X ※4
連続通話(音楽)再生時間	最大約 12(12)時間	バスキーコード	0000 (ゼロを4つ) ※5
スタンバイ時間	最大約 70時間	その他	HD VOICE(VoLTE+対応) ※6
動作環境条件	温度 約5~50°C		

※1. 使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。

※2. イヤホンを装着していない状態の数値です。(内)内はイヤホン突起部を含まないイヤホン本体厚みです。

※3. 電源オフにしても8台までの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます(同時に待ち受けできるわけではありません)。

※4. 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。

※5. バスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。

※6. バスキーコードはDC5V1A以上のUSB-Type-Aの出力ポート付きパソコンやAC充電器、DC充電器を別途ご用意ください。車で充電する際は先にエンジンを始動してください。

※7. AC充電器はコンセントに挿し、DC充電器はアクセサリー電源に挿して通電状態にしてから、USBケーブルのType-Aプラグ(大きい方)を挿しごみます(上下の向きにご注意ください)。

※8. イヤホン本体上部の充電ポートにUSBケーブルの小さい方のmicroUSBプラグを差し込みます。

※9. 充電が開始されるとイヤホンのLEDが赤く点灯します。ゼロから満充電までは約3時間かかり、充電完了になると消灯になってお知らせします。

※10. 使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。

※11. お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますが、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

※12. 本体内に水などが内部に入ったままご使用になると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

※13. 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

※14. 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。

※15. 本体(イヤホン)は流水に当たると水没させないようにしてください。

※16. 本体(イヤホンやケーブルなど)は非防水なので濡れた手でさわらないでください。
流水に当たると水没した場合は隙間を拭き取り、濡れた箇所を完全に乾燥させてください。

※17. また、本体内に水などが内部に入ったままご使用になると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

※18. 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。

※19. イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

※20. 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。

※21. 本体(イヤホンの内蔵充電池)は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。

※22. 走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差し操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。

本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐停車してからおこなってください。

※23. 小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。

小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されていて大変危険です。

※24. 付属のUSBケーブルをお使いください。

出力がDC5V1A以上のUSB充電器を推奨します。低出力の充電器ですと、満充電まで長くかかり、ほとんど充電されない場合があります。

また、USB規格外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。

また、お車のUSBポートで充電する場合は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

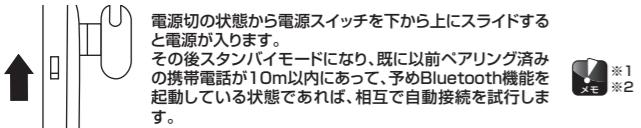
※25. 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差し操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。

本製品のいかなる操作も、お車を安全な場

6 基本操作 ※取扱説明書Aの「③基本操作の説明」もご確認ください

電源オン(電源を入れる) → (電源オフ状態から) 電源スイッチを入れる



電源切の状態から電源スイッチを下から上にスライドすると電源が入ります。
その後スタンバイモードになり、既に以前ペアリング済みの携帯電話が10m以内にあって、予めBluetooth機能を起動している状態であれば、相互で自動接続を試行します。

電源を入れるとペアリングモードになります → [LED]赤、青交互に点滅した状態。周辺を探索しています

「ブルブルと音が鳴る」

→ 探索モード※接続を試行中(未接続) → [LED]赤・青交互点滅(5分間継続)

まだご使用になれません

ペアリングが未登録の状態か、以前ペアリング登録した携帯電話との再接続が成功していない状態です。携帯電話側の設定でBluetooth機器との接続状況をご確認ください。もしもは上記「ペアリングの方法」をご確認になり、携帯電話とペアリングを行ってください。

→ スタンバイモード(自動接続完了) → [LED]5秒ごとに青1回点滅を継続

「ブピ」と音が鳴る
ご使用になります

電源オンの状態で、ペアリング済みの携帯電話との接続がされている状態です。自動接続が完了するとこの状態になり、通話などの操作が可能になります。携帯電話側でもBluetoothの項目で接続は確認できます。

電源オフ(電源を切る) → (電源オン状態から) 電源スイッチを切り~LED赤3回点滅

「ルルルルと音が鳴る」

電源切の状態から電源スイッチを上から下にスライドすると、LEDが3回赤色点滅して電源オフになります。

着信

→ 着信音がイヤホンから聞こえます

※着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。

※一部の携帯電話機の仕様や設定によっては、相手の電話番号や連絡先名称が英語で読み上げられます。

※一部、携帯電話側で設定が必要な場合があります。

※着信音を変更することはできません。

※機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。

着信応答(電話を受ける)/通話 → (着信中) メインスイッチを短く1回押し

1回 メインスイッチ

スタンバイモード中に着信があるとスピーカーから着信音が聞こえます。メインスイッチを短く1回押して電話を受けることができます。1秒以上長く押し続けると着信拒否になってしまふのでご注意ください。

終話(電話を切る) → (通話中) メインスイッチを短く1回押し

1回 メインスイッチ

イヤホンを使っての通話中に終話をしたい場合は、着信時と同じようにメインスイッチを短く1回押します。長く押すと終話になります。その後、スタンバイモードに戻ります。

ラストナンバーリダイヤルする → (自動接続完了のスタンバイモード中) メインスイッチを短く2回押し

2回 メインスイッチ

メインスイッチを短く2回押すと、携帯電話を操作せずに、履歴に一番最後に残った番号に再発信します。携帯電話機をリセットや電源を入れ直したりして履歴が消えると、ラストナンバーリダイヤルはできません。

イヤホンから携帯電話への通話切り替え → (通話中) 携帯電話機側の操作

本機側での操作で、イヤホンから携帯電話本機への通話切り替えはできません。
携帯電話機側の画面操作で切り替えを行ってください。

音量調節 → ボリュームアップ(VOL+)キー/ボリュームダウン(VOL-)キーの操作



ボリュームアップ(VOL+)キーを押すと受話音量が上がりります。ボリュームダウン(VOL-)キーを押すと受話音量が下がります。

音量増減の段階は接続機種によって変わります。また、機種によってはこの操作で一番最大、最小の音量まで調整できない場合があります。

※音量は接続している携帯電話機のBluetooth音量設定と連動します。

※AVRCPでの音楽再生時に、ボリュームアップ(VOL+)キーを押すとビープ音で最大音量をお知らせします。

※VOL+キーを素早く2回押すと、携帯電話の音声案内機能が立ち上がる場合があります。

7 マルチポイント (2台同時待ち受け)

●一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(自動接続完了)になります。(自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります)。

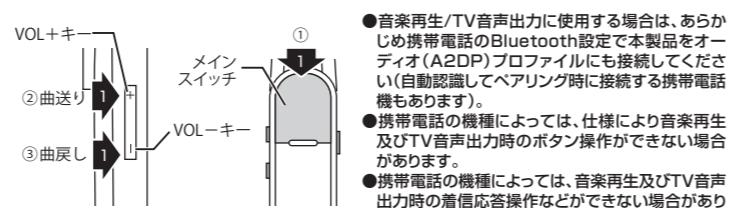
●2:1で接続しない場合は携帯電話機側で手動で接続してください。
●3:イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話の電源が切れています、BluetoothがOFFになっていると、このモードになります。

●4:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetoothの接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください。(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE20X」を削除し、イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)

●5:イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)
●6:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(通話ボタンを押すなど)して電話を受けることもできますが、携帯電話本体での通話となりますので、その後、携帯電話の手動による操作でイヤホンに切り替えてください。
●7:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。

●8:HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。
●9:耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

…音楽再生やTV音声出力を楽しむ



●音楽再生/TV音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ(A2DP)プロファイルにも接続してくださり(自動認識してペアリング時に接続する携帯電話機もあります)。
●携帯電話の機種によっては、仕様により音楽再生及びTV音声出力時のボタン操作ができない場合があります。
●携帯電話の機種によっては、音楽再生及びTV音声出力時の着信応答操作などができない場合があります。

機能(上図①～③の番号) 操作方法/説明

- ①再生/一時停止 (音楽/動画を起動した状態で) メインスイッチを短く1回押し
- ②曲送り(チャンネル送り) (再生中にボリュームアップ(VOL+)キーを1秒長押し)
- ③曲戻し (再生中にボリュームダウンキー(VOL-)を1秒長押し)

●音楽再生中の着信応答 着信中にメインスイッチを短く1回押す(音楽は一時停止)
●電話を切る(終話) 通話中にメインスイッチを短く1回押す(音楽再生またはTV視聴に戻ります。)

8 便利な機能

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。

…マルチポイントについて

※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話ではマルチポイント接続できない場合があります。

※携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。

●2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。

- ①1台目の携帯電話(Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
②携帯電話機の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
④最初にペアリングした携帯電話のBluetooth設定をONにして再接続してください。
⑤2台の携帯電話機のBluetooth設定(リスト)で本製品と接続状態になっているか確認してください。

この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります。この時、ラストナンバーリダイヤルは最後に接続した接続端末の最終発信履歴にのみ対応します。

※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにすると、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

…マルチポイント時の通話に関する操作

●マルチポイント接続中(2台待ち受け時)は、どちらの携帯電話に着信があつてもイヤホンから着信音が聞こえます。
着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです(→「6.基本操作」参照)。

※マルチポイントでご使用になっている場合に両方の接続端末に受信があつても、本製品側の操作で接続の受け渡しや保留の動作はできません。携帯電話機側の画面で操作を行ってください。

…充電池残量警告機能

●イヤホンの充電池残量が少なくなると、60秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「ブーブー」と音声でお知らせし、イヤホンのLEDも60秒に赤が1回点滅します。そのまま使用を続けると充電池残量がなくなり電源が切れてしまいしますので、お早めに充電してください。

… Siriを起動する (iOS5.1以上をインストールしたiPhone4s以上で対応) ※2022年10月現在

●スタンバイモード時にイヤホンのVOL+キーを短く早く2回押すと、iPhoneのSiri(音声アシスタントサービス)が起動し、イヤホンを通しての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。起動した状態から終了させたい場合はVOL+キーを短く2回押してください。

●iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを長押ししながらVOL+キーを2回押すと、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。

※マルチポイント時は1台目に接続したiPhoneでのみ、Siri起動が可能です。

※上記操作はiOS及びAPPのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

…リンク切断後の再接続試行

●接続中の接続機種とイヤホンが通信範囲(見通し約10m)から離れた場合、「ブピ」と電子音が鳴り接続が解除されます。その後約300秒以内に通信範囲内に戻れば、自動で再接続を試行し、成功すると「ブピ」と電子音が聞こえます。

●300秒以内に10m以内に戻っても自動で接続しない場合は、携帯電話側にて手動で再接続してください。

●10m以上離れた状態のまま連続で300秒が経過するとイヤホンの電源が自動で切れます。この場合はその後、10m以内に戻った時、イヤホンの電源を入れ直して再接続を行ってください。

※自動で再接続できない場合は、接続機器から再接続をしてください。

8 トoubleルシューting

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただけた前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法

■携帯電話で検索(サーチ)しても「BTE20X」が表示されない

■ペアリングは完了したが接続できない

■ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない

■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。

対処方法として下記の操作をお試しください。

①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。

②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE20X」を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。

症状や疑問点

確認していただくこと

電源がオンにならない

イヤホンがどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。

ペアリングモードにない

すでに一度登録済みで接続されてしまっている携帯電話機が周囲にないかご確認ください。

ペアリングができない

電波が多く強い環境では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。

携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。

パスキー(PIN)がわからない

本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。

通話、受信ができない

携帯電話機のBluetooth設定画面で接続状態かどうかをご確認ください。

一部の携帯電話機(SHARPなど)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながりない設定が初期設定になっています。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にするか、着信時に本機のメインスイッチを2秒長押しして、手動で携帯電話機と接続する事をお試しください。

着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。

通話中にノイズが聞こえる
通話中に音がとがれる

通話中にノイズが聞こえる機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。

携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下で、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。

携帯電話との距離が離れてすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、近くに電子レンジ、自動扉、電波塔などの無線を妨害する機器や設備がどこないか確認してください。

携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話とイヤホンとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。

音が聞こえない
着信音が聞こえない

携帯電話とペアリング及び接続ができるない可能性があります。